



### カブトガニをテーマにした博物館は世界でここだけ！

カブトガニ博物館は、カブトガニの保護・環境保全・育成と、より多くの人にカブトガニの生態を知ってもらうことを目的とし、平成2年に開館しました。笠岡は、昭和3年から“カブトガニの繁殖地”として国から天然記念物に地域指定されましたが、干拓などによる環境の変化からカブトガニの数は激減してしまいました。昭和50年に設立したカブトガニ保護センターの設立以降、水質改善や人工孵化や幼生の放流など地道な取り組みを続け、ここ数年で確認できるカブトガニの生息数は増加し、徐々にカブトガニが住める環境が戻りつつあります。

### ◆ 施設のおすすめ

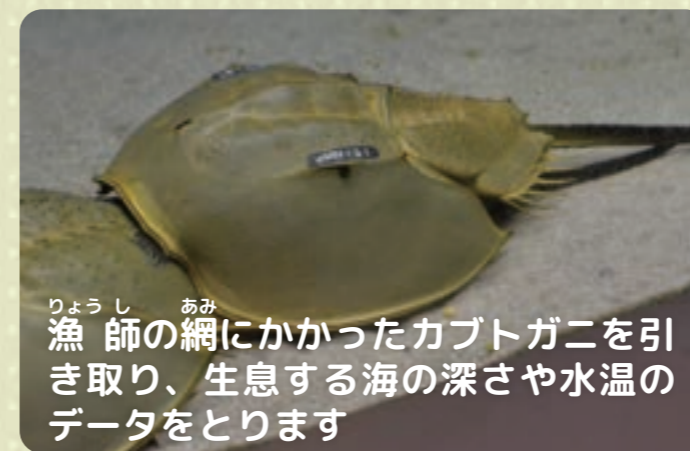
毎年7月末ごろには、笠岡で生まれたカブトガニを笠岡の海に放し、元気に育ってくれることを願って放流する「カブトガニの幼生放流体験」を開催しております。子どもたちが実際に自分の手で、カブトガニを海にかえすことができるチャンスはなかなかないので、ぜひ参加してみてください。昭和50年ごろに放流できる数も年間500匹程度でしたが、平成7年ごろから量産体制が整いはじめ、現在は2齢(生後1～1.5年・0.9～1.2cm)で年間1万匹ほど放流しております。

### ◆ 子どもたちへのメッセージ

カブトガニは決してどこにでもいる生き物ではありません。ですので、海でゴミを見つけたら拾ったりと、彼らが住んでいる海はもちろん、海へとつながる川など、彼らがこれからも暮らしていく環境をキレイに、そして大切にしよう心がけてください。



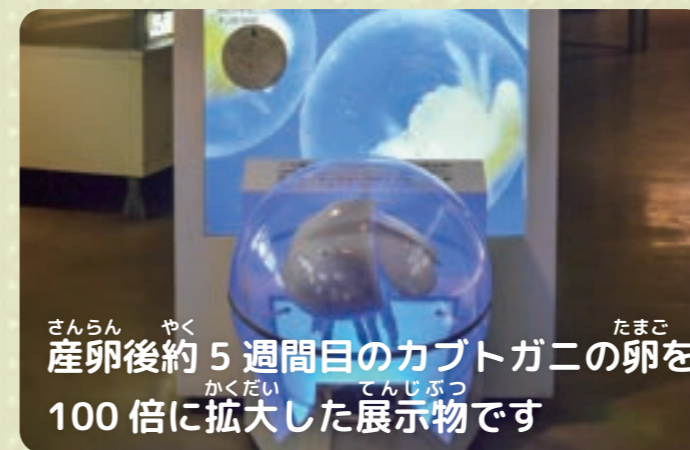
施設内の様子



漁師の網にかかったカブトガニを引き取り、生息する海の深さや水温のデータをとります



巨大恐竜たちの展示もあります



産卵後約5週間目のカブトガニの卵を100倍に拡大した展示物です



キャプション